



# まんごの木

## 生きる目的は楽しく生きること「おもしろそう」

ある先生が小学4年生になった卒園生にあった時の話です。「園長先生の顔は覚えてないけど、手品は覚えているよ」と言っていたそうです。嬉しい様な少し寂しい様な気がします。以前も今も子どもたちは、いつも園長に会うと、とても喜んでくれます。「手品して～、抱っこして～、ジャンプさせて～、だーいすき～」色々な事を言って、お尻やお腹を叩いて歓迎してくれます。その子どもたちの笑顔が園長のエネルギーになります。本当にありがたい次第です。私はいつも、どうやったら子どもたちと楽しめるかを考えています。何をしたら喜んでくれるかな、楽しんでくれるかなと考えているとワクワクしています。そんなワクワクしている気持ちが伝わって、子どもたちも喜んでくれるのでしょう。子どもたちを楽しませる一番のコツは意外性だと思います。手品でハンカチが卵になったり破れたお札が元に戻ったり、自分の想像を超えたところに驚きと感動があるようです。園長はいつも何か楽しい事をしてくれると信じて、それをワクワク楽しみに待っているから、その意外性に笑えたり、楽しめたりするのでしょう。

大人になると意外性を楽しめなくなる様です。予定通り、思った通りが幸せだと思ってしまいます。しかし、神様は私たちをもっと楽しませるために、意外性を用意してくれています。その事を信じずに、不安な気持ちで毎日を過ごしているので素晴らしい神様の計画も贈り物も見逃して、思ったとおりで無いことだけを嘆いている様に思います。何か突然に思い通りにいかない事が起きたら、不安な気持ちを無理矢理にでも抑えて「面白そう」と言ってみませんか？「どうなるんだろう」とワクワク現状を楽しみませんか、私たちの人生の結果は幸せにしかならないのです。「私の目にはあなたは高価で尊い。私はあなたを愛している」これが神様からの言葉です。どんな状況でもハラハラドキドキさせてから結果は幸せにしかならないのです。「大丈夫、安心なさい。そして思い切り今を味わい楽しみなさい」と仰られている気がします。

2023年8月29日

園長 峯村敏弘

